

平成 30年 9月から本校の模擬国連グループ は多くの活動を行いました。

1. 9月～ ディベート・プロジェクト
2. 10月6日(土)、チャーチル杯英語弁論大会
3. 11月10日(土)、11日(日)「昭和祭」にて展示

1. 「英語ディベート・プロジェクト」胎動!

SDMs(Speech, Debate and Model United Nations Society)では、今秋からディベート活動にも取り組み始めました。まず、9月に Parliamentary World Debate Conference (PWDC) の公募に応募し、2本の英語エッセイと学校紹介の英語パワーポイントを作成しました。惜しくも選には漏れたものの、論理的に議論を展開してエッセイを作成した経験は貴重でした。

これを受けて、さらにディベートを練習しようという機運が生まれ、10月から5年生が放課後に教員と練習を始めました。先生方は初等部や大学、また国語科の先生も参加して下さいています。全員が初めて「即興英語ディベート」に挑戦しています。回を重ねるにつれ、少しずつ上達しており、これからの成長が楽しみです。参加した生徒達は「ディベートは難しいですが、英語上達には大変効果があると思います。これからも時間を見つけて参加したいです」と意欲的です。

本校では、ディベートは中学から様々な学年で国語や英語、また総合的な学習の時間など、多様な形で実践しています。今年の6年生は、初めて必修の授業で全員が英語ディベート(調査型)に取り組み、プラスチック問題を議論しました。

批判的思考力や柔軟な発想力を養い、英語力育成にもきわめて効果的なディベート活動を、今後も大会に挑戦する等して、根付かせて行きたいと考えています。練習に参加する仲間を募集中です!



[放課後ディベート練習会]



[6年生英語ディベート授業の様子]

2. 模擬国連の活動をチャールズ杯英語弁論大会で披露

SDMs (Speech, Debate and Model United Nations Society) のメンバーの5年田子根さんが学校代表として、外部の英語スピーチ大会で模擬国連の活動等を通して挑戦して来たことをスピーチにまとめ披露しました。10月6日青山学院大学で開催された「第67回チャールズ杯争奪全日本高等学校英語弁論大会」予選に参加しました。「これまで様々な英語弁論大会に学校代表で参加させていただきましたが、今回のスピーチが一番自分にとって納得の行くものになりました。模擬国連の仲間と推進した国際キャンペーン『学校保護宣言』についても語り、皆さんに興味を持っていただきました。スピーチを通して自分の言いたいことが伝わるという経験ができました」と満足気に振り返っていました。

また、同じく SDMs メンバーで模擬国連に3年の時から取り組んでいた6年近藤さんも、昨年度2月に開催された東京都八支部の英語スピーチ大会において帰国生の部で3位に入賞しています。加えて、SDMs メンバーの5年野萩さんも、現在、八支部の英語スピーチ大会に出場すべく準備を重ねています。このように、模擬国連で英語スピーチをする等の取り組みが、外部のスピーチ大会でも活かされ、良い結果を生んでいます。



3. 「昭和祭」にてポスター掲示と動画放映

11月10日(土)、11日(日)に開催された「昭和祭」に、模擬国連の活動を行う有志の会「SDMs (Speech, Debate and Model United Nations society)」が初参加しました。SGHの活動を紹介する教室で「活動報告」のポスターを掲示し、模擬国連の自作の動画放映を実施しました。これまでに使用した「議題解説書」等、関連資料も展示しました。中心メンバーの5年生は「少しでも模擬国連の活動を昭和祭で知ってもらいたいと思い、企画しました。実際に会議の様子を見せるなど、できたらなお良かったのですが、それは来年度以降の課題です」と語っていました。



[中心になって準備した5年生のメンバー]